

いんぷおみやぎ



CONTENTS

- 2 令和5年度の主な事業
- 3 青少年健全育成応援事業
決定団体からの報告
- 4 「家庭の日」作品募集
審査結果
- 6 少年の主張宮城県大会
結果報告
- 8 青少年健全育成
みやぎ県民のつどい
- 10 各種研修会の開催
- 12 P R活動より

令和5年度「家庭の日」絵画・ポスター
優秀作品
「家族みんなでスイカを食べたよ」
大衡村立大衡小学校5年 富永莉愛さん

発行・問い合わせ先

青少年のための宮城県民会議 (とらいゆ〜す MIYAGI)

〒980-8570 仙台市青葉区本町3-8-1
宮城県環境生活部共同参画社会推進課内
TEL : 022-211-2577 FAX : 022-211-2392
E-mail : seisyo9@pref.miyagi.lg.jp

青少年のための宮城県民会議

検索



会員を募集しています

青少年の健全な育成を願い、県民の皆様のご協力をいただいております。私たちの活動の趣旨をご理解いただき、ぜひ会員として入会していただきますようお願いいたします。申し込みは随時受け付けておりますので、事務局までご連絡ください。

正会員（年会費）

青少年育成機関・団体
1口 5,000円（1口以上）
企業 1口 10,000円（1口以上）

賛助会員（年会費）

個人 1口 3,000円（1口以上）
団体 1口 5,000円（1口以上）
企業 1口 10,000円（1口以上）

令和5年度

青少年のための宮城県民会議の主な事業

令和5年度の総会を、5月29日(月)に、宮城県庁講堂で開催しました。当日は55名の参加(事前の書面表決提出数62)で、令和4年度の事業報告・決算、令和5年度の事業計画・予算案が、原案のとおり可決・承認されました。

今年度は役員改選期であり、新会長として佐々木伸明氏が就任し、三浦文夫会長は顧問として、これからもご意見をいただくことになりました。新役員として就任されたのは、下記の方々です。



【主な事業】

- R5.4.21 会計監査
第1回運営委員会
- 5.29 令和5年度総会
(参加者数55名、宮城県庁講堂)
第1回常任委員会
- 6.13~27 委嘱状交付式・地域研修会
(県内5地区会場)
- 7.3~9.1 「家庭の日」作品募集
- 7月~9月 少年の主張地区大会(県内12地区)
- 7.17 「家庭の日」PR活動 ①志津川自然の家
- 8.2 第1回研修委員会
- 9.10 「家庭の日」PR活動 ②松島自然の家
- 9.28 少年の主張宮城県大会
(参加者数121名、利府町文化交流センター)
- 10.1 「家庭の日」PR活動
③オーエンス泉岳自然ふれあい館
- 10.5 「家庭の日」作品審査会
- 10.13 第2回研修委員会
- 10.15 「家庭の日」PR活動 ④蔵王自然の家
- 10.22 「家庭の日」PR活動 ⑤花山青少年自然の家
- 11.16 青少年健全育成みやぎ県民のつどい
(参加者数156名、大崎生涯学習センター・パレットおおさき)
- 12.5 第2回運営委員会
- 12.19 第2回常任委員会
- 12.21~ 「家庭の日」作品展示
(県庁1階ロビー)
- R6.1.11 第3回研修委員会
- 1.26 研修大会
(参加者数121名、東北自治総合研修センター)
- 2.29 第3回運営委員会
- 3.12 第3回常任委員会

【令和5年度役員(任期2年)】

| 役職 | 氏名 | 機関・団体名 |
|------|-------|---------------------------|
| 会長 | 佐々木伸明 | 大河原町明日の青少年を育てる会理事 |
| 副会長 | 齋藤辰治 | 石巻市青少年健全育成市民会議会長 |
| // | 畑山和晴 | 宮城県PTA連合会副会長 |
| 常任委員 | 佐藤真紀子 | (一社)宮城県子ども会育成連合会長 |
| // | 星恭典 | 宮城県青少年補導センター連絡協議会長 |
| // | 伊藤吉隆 | (社福)宮城県社会福祉協議会副会長兼専務理事 |
| // | 名取秀樹 | 宮城県中学校長会副会長 |
| // | 小野寺学 | 宮城県青年会議所会長 |
| // | 佐藤健二 | (公社)日本青年会議所東北地区宮城ブロック協議会長 |
| // | 後藤道子 | 宮城県青少年育成アドバイザー連絡協議会長 |
| // | 岡崎晃 | (公社)宮城県防犯協会連合会専務理事 |
| // | 佐々木正範 | 仙台地区青少年育成市町村民会議協議会長(多賀城市) |
| // | 勝井徳 | 青少年のための大崎市民古川会議会長 |
| // | 三浦徳義 | 青少年のための栗原市民会議副会長 |
| // | 羽生進 | 青少年のための登米市民会議会長 |
| // | 生駒正博 | 気仙沼市青少年育成協議会長 |
| // | 千葉潤一 | 宮城県教育庁義務教育課参事兼課長 |
| // | 佐藤孝夫 | 宮城県教育庁生涯学習課参事兼課長 |
| 監事 | 笹木まち子 | (公財)宮城県母子福祉連合会副会長 |
| // | 古関博子 | 宮城県更生保護女性連盟 |
| // | 柴谷亜美 | ガールスカウト宮城県連盟長 |
| 顧問 | 三浦文夫 | 前青少年のための宮城県民会議会長 |

令和6年3月31日現在

ご挨拶

青少年のための宮城県民会議 佐々木 伸明

令和5年度、三浦文夫前会長から会長職を引き継ぎ、青少年のための宮城県民会議会長に就任いたしました佐々木伸明です。皆様方のご協力をいただきながら、精一杯務めさせていただきますので、どうぞよろしくお願いいたします。

県民会議では、青少年の居場所の一つである地域の力を高めるために、青少年健全育成団体や関係機関等と連携しながら「あいさつ(声がけ)運動」や「少年の主張」を基軸におき、今後も地域の将来を見据えた様々な青少年育成事業を展開してまいります。皆様方にも一層のご尽力とご協力をお願いし、挨拶といたします。



青少年健全育成応援事業決定団体からの活動報告

正会員または正会員に加盟する団体・グループが主催する青少年健全育成のための活動に、経費の一部補助をするもので、今年度は以下の事業に補助しました。

広報啓発事業

青少年のための登米市民会議

青少年健全育成団体である「青少年のための登米市民会議」の活動をより多くの市民に理解してもらい、協力してもらえよう、会報「伸びゆく登米の青少年」を作成し、市内の全世帯と全小中学校、関係機関等に28,300部を、令和6年3月下旬に配布します。(予定)

地域に根差した育成活動の様子が伝わるよう、誌面を充実させることができました。



令和5年度青少年健全育成研修会

仙台地区青少年育成市町村民会議協議会

期日：令和5年11月30日(木)

会場：多賀城市文化センター小ホール

当会と他2団体による合同開催とし、防犯講演会と青少年健全育成研修会の2部構成で研修を行い、128名の参加がありました。青少年健全育成研修会では、NPO法人アスイク代表理事の大橋雄介氏より「生きづらさを抱える子ども・若者たちの現状」と題して、豊富な資料とこれまでの経験を基にご講話をいただきました。



青少年健全育成のつどい事業

青少年のための大崎市民岩出山会議

健全で明るい家庭づくりを目指し、相手を思いやる優しい心や信頼の絆を深めるために、10月7日岩出山公民館において開催しました。

地域内小中学生を対象に「あったか家族の日」作文・ポスター作品の募集を行い、当日は第一部表彰式、第二部最優秀作文・ポスターの発表・紹介、第三部は講演会を行い、「つどい」を通して、家庭・学校・地域社会が連携し、改めて共通理解を深めることができました。



中学生リーダー研修

青少年健全育成松島町民会議

8月1・2日に夫婦町である秋田県にかほ市から11名の中学生を招き、交流事業を実施しました。研修ではリーダーとしての心構えの講話をはじめ、東松島市の震災復興伝承館見学による防災意識向上、グループワークを通じた相互理解など様々な体験活動を行うことができました。



ミーの冒険世界を歩こうパート2白石ウォーク

ガールスカウト宮城県連盟

2023年ワールドシンキングデイテーマ「環境問題と平和」について体験を通し学び考えることを目的に4月の塩釜市野々島ウォーキングに引き続き、10月1日に城下町白石市を散策し先人たちが築き守ってきた街中の環境を見て回りました。自分たちが暮らす街との違いを見つけることができ身の回りの環境に目を向けるきっかけとなりました。



町民のつどい

青少年のための涌谷町民会議

「地域の子どもは地域で育てる」を合い言葉に、青少年健全育成を効果的に推進するため、12月1日に涌谷公民館にて、「町民のつどい」を開催しました。涌谷中学校、宮城県涌谷高等学校の生徒による意見発表や、こおりやま子ども若者ネットワーク理事長鈴木綾氏を講師に迎え「不登校やひきこもりの子ども若者を支える地域をめざして」と題し講演をいただきました。



台湾屏東県童軍会(屏東県スカウト連盟)との交流事業

日本ボーイスカウト宮城県連盟

当連盟は令和5年11月27日に台湾屏東県を訪問し屏東県スカウト連盟とスカウト及び指導者の相互交流を推進するために交流協定書を交わしました。スカウトたちが交流活動を通して異文化に触れる機会を作り、またキャンプなどの活動を共にすることで相互理解を深め友情を育むことを目指しています。



会報誌「こころ」発行事業

青少年健全育成多賀城市民会議

紙面を増やし、子どもたちの活動の様子や青少年健全育成の活動及び推進等の情報をより多く掲載した会報誌を作成することができました。紙面を増やしたことで、記事の内容を充実させることができ、市民の方々に青少年の健全育成の活動についての理解と関心をさらに高めることができました。



おじゃまします事業

各地区または市町村民会議等で開催される青少年健全育成大会や研修会に、テーマに応じた講師を派遣し健全育成運動の啓発や情報の提供を行う事業です。今年度の依頼は次のとおりでした。

「青少年の健全育成講話等」

●青少年のための登米市民会議津山支部市民集会●大衡村少年保護員連絡協議会●宮城県青少年アドバイザー連絡協議会

「青少年のインターネット安全利用講話」

●仙台大学附属明成高校●貞山高等学校●女川町立女川中学校●仙台親子空手沖宮会●塩竈市立第二中学校●仙台市民生委員児童委員協議会青少年部会●仙台市西多賀市民センター●角田市立横倉小学校父母教師会●気仙沼市教育サポートセンター●仙台市立川平小学校●若柳地区学校警察連絡協議会●仙台工業高校定時制●塩竈市立第三中学校●栗原市立花山小学校●青少年のための登米市民会議石越支部●仙台市立生田中学校●大崎市立古川第一小学校(県出前講座を含んでおります)

「家庭の日」作品募集 審査結果

令和5年7月3日(月)から9月1日(金)まで、「家庭の日」作品の募集を行い、絵画・ポスター部門115点(児童の部71点、生徒の部44点)、川柳部門317句(児童生徒の部250句、一般の部67句)の応募がありました。その中から、入選作品として絵画・ポスター部門20点、川柳部門15句を選出しました。

入選作品は、「家庭の日」への理解を深めるために、令和5年12月21日(木)から令和6年1月11日(木)の期間、県庁ロビーで展示したほか、各会議の場での紹介、カレンダーや啓発物品等への掲載で、広く活用しています。



優秀作品

(敬称略)

表紙の
作品



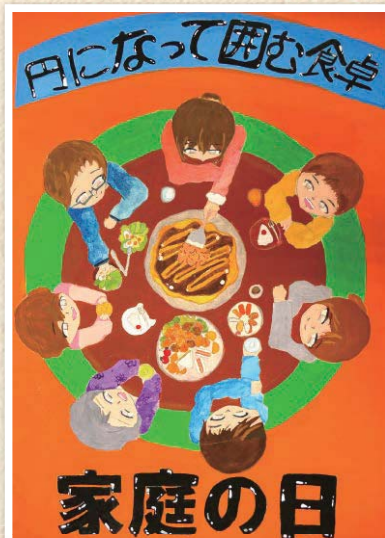
おばあちゃんの畑でスイカとれたよ
宮城教育大学附属小学校2年 野上 愛馨



家族みんなでスイカを食べたよ
大衡村立大衡小学校5年 富永 莉愛



家族と共に
宮城県古川黎明中学校2年 飯牟礼 たまき



家族の輪
涌谷町立涌谷中学校1年 菅原 杏莉



優秀作品に選ばれた4名には、11月16日に行われた県民のつどいにて、賞状と記念品が授与されました。(当日出席は3名)

毎月第3日曜日は
「家庭の日」

令和6年度も
たくさんのご
応募をお待ち
しております

入選作品

(敬称略)

【絵画・ポスター部門】

◆児童の部



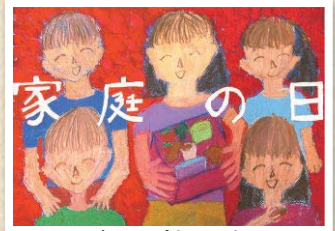
家そくで見たホテル
仙台市立富沢小学校 2年 高橋 里歩



みんなえがおでかていの日
宮城教育大学附属小学校 2年 柴田 沙羅



楽しい家そくの思い出
石巻市立前谷地小学校 3年 小池 稜太郎



楽しいピクニック
宮城教育大学附属小学校 3年 太郎丸 莉杏



みんなで笑おう家庭の日
石巻市立前谷地小学校 6年 藤原 芽生



山登り
石巻市立前谷地小学校 6年 小池 悠仁



愛を育む
登米市立南方小学校 6年 大久保 殊美



幸せな家庭
登米市立南方小学校 6年 地紙 凜桜

◆生徒の部



家族とつくる私の思い出
石巻市立石巻中学校 1年 高橋 歩実



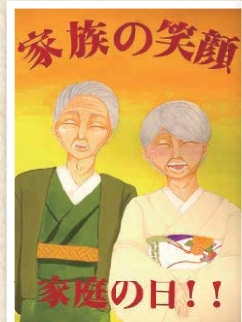
家族で食べる夜ご飯
宮城県古川黎明中学校 2年 中川 理彩



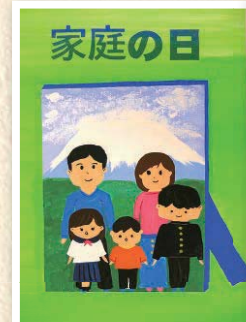
それぞれの願い
石巻市立石巻中学校 3年 井上 稀翔



笑顔いっぱい
登米市立登米中学校 3年 小川 栞穂



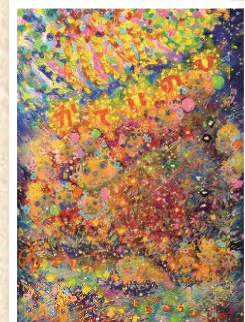
家族の笑顔
登米市立東和中学校 3年 阿部 一里



家族団樂
登米市立東和中学校 3年 上野 柚綺



笑顔の和
登米市立東和中学校 3年 渡邊 かすみ



たなはたとおいねるるるる(かたつむり)
宮城県立小松島支援学校 高3年 鈴木 正広

【川柳部門】

◆児童・生徒の部

ひさしぶりいとこでかくておどろいた
宮城教育大学附属小学校 1年 瀧口 瑛士

あれとつて母のあれが分かるぼく
富谷市立富ヶ丘小学校 4年 日出 緯吹

夜9時は画面でパパと待ち合わせ
宮城教育大学附属小学校 4年 土屋 立夏

さあ行こうじやがいも取りに祖父の家
柴田町立槻木中学校 2年 沼田 桂輔

恥ずかしいけど花を抱えて「ありがとう」
美里町立不動堂中学校 2年 阿部 遥太

兄帰省よろしくたのお家庭教師
仙台市立東華中学校 2年 瀬川 茜

「これかわいい!」母と女子会カフェランチ
美里町立不動堂中学校 3年 石山 絆夏

変わらない親の愛情感謝のみ
古川学園高等学校 1年 武田 遥

ありがとうこの一声がいいだせない
古川学園高等学校 1年 橋本 七海

おかえりと笑顔のセット必需品
古川学園高等学校 1年 藤島 藍

◆一般の部

大家族笑顔の真ん中踊る孫
大崎市 伊藤 裕子

大皿の焼きそば囲む小顔の輪
利府町 志村 貞夫

ママ仕事パパ育休で子守歌
白石市 菊川 いつ子

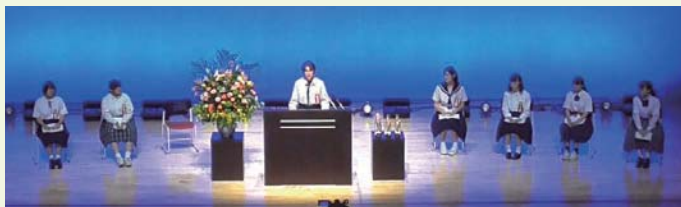
絵本読むパパのお膝で夢描き
富谷市 秋葉 庸子

親子三代手縫いの浴衣跳ねる夏
仙台市青葉区 南部 多喜子

少年の主張

宮城県大会 結果報告

少年の主張宮城県大会を、9月28日(木)に利府町文化交流センター「リフノス」で開催しました。コロナウイルス感染症の影響から、4年ぶりに通常開催となった県大会では、地区大会の代表となった13名の中学生が、毎日の生活や体験を通して感じていることなどをしっかりとまとめ、大勢の聴衆の前で堂々とした発表をしてくださいました。



審査結果

宮城県知事賞

言葉を紡ぐ

東松島市立矢本第一中学校 3年 入駒 奏羽

青少年のための宮城県民会議会長賞

無限じゃない

多賀城市立高崎中学校 3年 伊藤 百花

自分らしく生きるということ

大河原町立大河原中学校 3年 佐藤 夢羽



優良賞

(県大会出場者全員が受賞・発表順)

| | |
|-------------------|---------------------|
| ふるさとでの学び | 仙台市立根白石中学校 3年 合地 絢音 |
| 想いを両手に | 気仙市立唐桑中学校 3年 佐藤 葉月 |
| 多様性を認める社会を目指して | 宮城県仙台二華中学校 3年 辻 知夏 |
| あの人のように | 栗原市立栗駒中学校 3年 齋藤 愛心 |
| 私らしく挑戦する | 登米市立津山中学校 3年 佐藤 愛美 |
| あなたの個性は何ですか？ | 大衡村立大衡中学校 2年 狩野 真優 |
| 「やってみよう」という思いがあれば | 仙台市立五城中学校 3年 菅井菜々乃 |
| 挑戦は、バージョンアップ | 仙台市立長町中学校 3年 今野 佑哉 |
| 「広がれ、幸せの輪」 | 大崎市立松山中学校 3年 下山琉梨愛 |
| つながりのある社会を目指して | 仙台市立幸町中学校 3年 鈴木 花奏 |

令和5年度宮城県知事賞受賞作品 (全国大会出場 努力賞受賞)

言葉を紡ぐ



「消えるよ。」

ある日の休み時間。いつも通り少し騒がしくて、そして皆の笑い声が響く楽しい時間でした。そんな時に、私の耳に入ってきた言葉。

「お前さー、まじで消えるよ。」

そう笑いながら言う姿に、私は言いようのない衝撃を受けたのです。普段ならそこまで気にせず、聞き流してしまっていた言葉。しかし、その日はなぜかはっきりと聞こえた笑い交じりの「消える」が、頭に残って離れませんでした。私が言われたわけでもないのに、笑って話している中で出た冗談だとも分かっているはずなのに、なぜか私は、その言葉が気になって気になって仕方がなかったのです。

「どうして、あんなに軽々しく「消える」が言えるのだろう。どうして、人を傷付ける言葉を笑って言えるのだろう。」そんな疑問が胸に渦巻き、誰にもその疑問を打ち明けることもできないまま、私の心はモヤモヤとした気持ちを抱えることになりました。

皆さんは動画を見たりしますか？その動画にどんなコメントが書かれているかを見たことはありますか？どんなに可愛くても、どんなに上手でもコメント欄にはこんな言葉たちがあふれています。

「可愛い」「下手すぎ」「見てられないんだけど」「動画出すのやめろ」「まじでウザい」「顔出すな」

その人を否定する誹謗中傷の言葉たち。きっと軽い気持ちで書いているのでしょう。もしかしたら良かれと思って書いているのかもしれない。しかし、この言葉たちを向けられた人が傷付いていないわけがないのです。しかし、そのことに気付いている人は多くはありません。「言葉のナイフ」が簡単に誰かに向けられるようになってしまっていると私は思うのです。ではなぜ、このような人を傷付ける言葉が軽々しく言われるようになってしまったのでしょうか。私

東松島市立矢本第一中学校 3年 ^{いりこま} ^{かなる} 入駒 奏羽

は、先ほど触れたネットの世界が関係していると思います。テレビだけでなく、今は配信された動画を見て楽しむ時代になりました。そして時に、人を攻撃する言葉は、「いじり」として笑い呼びます。そしてそれは、そのまま現実の世界に戻ってきます。ネットで許されるなら現実でも言っているだろう、やっつけていいだろうがエスカレートしていき、人を傷付けることにためらいが失われていったのだと思います。その結果、言葉の意味や伝わる思いを考えず、私たちは言葉を軽々しく使ってしまうようになってしまったのだと思います。

このままでは、気付かないうちに誰かを傷付けてしまう社会になってしまう。私はそんな未来になってしまうのが怖くてしかたありません。そうならないためにも、私たちは何をしなければいけないのでしょうか。私自身、軽はずみに言葉を使ってしまい、人を傷付けてしまったことがありました。だからこそ、それに気付けた今、自分の言葉に責任を持たなければいけないのです。言葉の意味を、どのように相手に伝わっていくのかを考えて言葉を発していかなければいけないと思います。

世の中には「言葉を紡ぐ」という言い回しがあります。言葉を「紡ぎ」、人と「繋ぐ」私たちだからこそ、伝える言葉に意味を持たせて、大切に生きる方をしていきたいと思うのです。言葉はたった一言で人を生かすこともできるし、その命を奪うこともできます。そのことを忘れず、大切に言葉を紡いでいきたいと思っています。皆さんも、相手に思いを伝える言葉を大切に、皆が笑顔になれる言葉を紡いでいきましょう。私も自分の言葉を誰かを攻撃するためじゃなくて、誰かを守るために、誰かを勇気づけるために使っていきたいと思っています。「消える！」じゃなくて「一緒にいてくれてありがとう」を私は伝えていきたいと思っています。これからの未来が、言葉でも助け合い、温め合える世界になりますように。

無限じゃない

いとう ももか
多賀城市立高崎中学校 3年 伊藤 百花



私たちは今、スマホを手放せなくなっています。膨大な時間をゲームや動画の視聴に費やしています。ある出来事を経験するまでは、私もスマホに時間を支配されていました。

小学校の頃、私には仲の良い友だちが2人いて、その子達と家で遊ぶことになっていました。2人は小学校からスマホを持っていて、とてもうらやましかったのを覚えています。2人が家に来て、私が飲み物を持って行ったら、2人はスマホを触っていました。(連絡をしているのかな) と思い、私は2人がスマホを触り終わるのを待ちました。しかし、いつまで経っても、スマホを離す気配がありません。しびれを切らして、「何をしているの」と聞いたら、2人は「ゲーム」と口をそろえて言いました。その時はただ呆然としました。私はスマホを持っていないのに。個人でゲームをするなら集まる意味無くない? その後は一緒にいる気になれず、「この後予定あったの忘れてた。」と適当な理由をつけて帰ってもらいました。2人を待ってただ座っていた時間にもっと他のことができたのではないか。そう思うと、とても悲しくなり、「私がスマホを持ったら絶対にこんなことしない」と固く誓いました。

中学生になり、私もスマホを買ってもらいました。使ってみるととても楽しくて、時間を忘れそうになりました。

私の家には「さくら」という犬がいます。さくらは大切な家族の一員です。ある時、さくらが体調を崩してしまいました。寝る時間が多くなったり、毛並みが悪くなったり、日に日に元気がなくなっていくようでした。あわてて病院に行くと、「原因はストレスです。

遊んであげたり散歩をする時間は十分にとれていますか。」と獣医さんに言われました。思い返してみると、スマホを持ち始めてから遊んであげる時間も散歩をする時間も減っていました。自分のせいでさくらが体調を崩してしまったのです。何より、小学校の時に感じた悲しい思いを、今度は自分がさくらにさせてしまったのです。申し訳ない気持ちと自分に対する怒りで頭がいっぱいになりました。

その時、母が私に言いました。「犬は、どう頑張っても私たちより先に寿命が来てしまう。時間には限りがあるの。それにさくらにはあなたしかいないんだよ。」

そこで私は、やっと気づきました。時間には限りがあり、その時間を私が無駄に使っていたことを。

今現在、私たちはスマホを日常的に使うことが多いと思います。そんな中、世の中でよく心配されているのは、スマホの使いすぎによる視力や学力の低下です。しかし、それよりも私が最も心配していること。それは、大切な人と過ごす時間や、大切にすべき時間そのものをスマホに奪われているということです。確かにスマホはゲームもできて動画も見られて、アプリなどで様々な仕事をこなすことができます。検索もできて、学習や生活の色々な場面でも活躍し、暇つぶしも簡単にできます。それゆえに1日のうち、数時間もスマホに使っている人がほとんどだと思います。

しかし、考えてみてください。今ある有限な時間を、皆さんはどう使いますか。私たちは日々、判断を迫られています。もちろん私は大切な人のために、大切なことのために、その時間を使いたいと思います。さくらと私が幸せに過ごせるように。

自分らしく生きるということ

さとう ゆめは
大河原町立大河原中学校 3年 佐藤 夢羽



「自分らしく生きてみたら」
手話サークルで出会ったデフリンピック選手Aさんが手話で伝えてくれたことです。デフリンピックとは、聴覚に障害を持つ人たちのスポーツ競技大会です。

自分らしく生きるって何だろう。

中学2年生の春、私は学校に行けなくなりました。原因は友達関係によって人と会うことが怖くなってしまったのです。やらなくてはならないと分かっている一歩踏みだせない自分になってしまいました。

そんな毎日を送る私に、母から手話サークルの誘いがあって、以前から興味があったので、母と一緒に行きました。

初めはとても緊張しました。なぜなら、心の中の不安がまだ残っていたからです。しかし、行ってみると静かな空間の中でのサークルなのかなと思っていたら、明るく気軽に接してくれました。その手話サークルで、デフリンピック選手Aさんと出会いました。Aさんはスポーツ選手として自分を鍛えながら、みんなに手話を教えてくれる先生だったのです。

Aさんは本当に明るい人で、周りの人を笑顔にするような人でした。また、何よりも自分の力を信じ、デフリンピックに出場する目標を持つ、強い人という印象でした。私にとってその姿はあこがれであり、心の支えに変わっていったのです。

ある時、Aさんから通訳の方を通して、Aさんも悩んできた日々があったことを伝えられました。選手になる前は自分がろう者であることに對して、健聴者をうらやみ、どうして自分はこうなってしまったんだと人生に不安を感じていた時もあったそうです。こんなにも強く生きていた人も、人生が嫌になるほどの経験をしてきたことに驚きました。

ハンディを乗り越え、自分の好きな競技に突き進んでいるAさんを尊敬しました。

その話を聞いたあとにAさんに対して、親しみと信頼を感じ、自然に自分のことを正直に話していました。自分の何が悪かったのかしだいに自分をせめるようになっていたこと。

誰にもこの思いを気付かれたくない強く思いはじめた頃は、学校に行けなくなっていたこと。そんな私の今までの思いを通訳の方を通してAさんに伝えたとき、Aさんから、「まじめすぎるからもっと気軽にいけばいいじゃん」と言われたとき気持ちが楽になりました。と同時に思いを分かち合うことのすばらしさを実感しました。Aさんのように、好きな事に突き進む人になりたい。その第一歩として、手話を学び、不安や悩みを持っている人の気持ちを分かち合ったり、おたがい喜びを伝え合ったりできる人になっていこう。周りの空気に合わせてしまい、自分らしくいられない空間にいるより、自分が楽しめることこれが私の自分らしさなんだと気づきました。

2年生も終わる頃、手話がきっかけで、学校に行けるようになりました。友達に手話を教えることで、喜びをわかち合い自分の居場所を感じる事ができたのです。

「おはよう」と手話で挨拶したら、何人かの人たちが興味を持って、「私もやってみたいから教えて。」と言ってくれて嬉しかったです。朝はおはよう、帰りはまたねと手話をして帰るとい日々を送っています。

2年後に東京デフリンピックが開催されます。私は今、その会場で手話でボランティアをすることを目標にしています。うまく出来るかどうか分かりませんが、私のやり方で大好きな手話を皆に伝えていきたいです。

※発表の動画と作文は、青少年のための宮城県民会議のホームページに掲載しています。右の二次元コードを読み取ってご覧ください。



青少年健全育成 みやぎ県民のつどい

期日：令和5年11月16日(木) 会場：大崎生涯学習センター(パレットおおさき)



新型コロナウイルス感染症が5類扱いとなり、4年ぶりに通常開催となった県民のつどいには、県内各地から青少年健全育成活動に携わる156名の方々が参加されました。

はじめに、青少年健全育成に尽力された方々への県民会議会長表彰、並びに「家庭の日」絵画・ポスター優秀作品の表彰や、少年の主張宮城県大会で県知事賞、県民会議会長賞受賞者3名の発表がありました。

その後、基調講演として、「社会総がかりの青少年健全育成を目指して」と題し、利府町文化交流センター「リフノス」センター長 野澤 令照氏にご講演いただきました。



会長表彰

●青少年健全育成功労者・個人 -順不同/市町は活動地域-

| 市町村 | 氏名 | 市町村 | 氏名 | 市町村 | 氏名 |
|-----|-------|------|-------|-----|-------|
| 塩竈市 | 村上博之様 | 松島町 | 武山京子様 | 登米市 | 渡邊義昭様 |
| 名取市 | 大友克志様 | 東松島市 | 遠藤利文様 | 登米市 | 橘智法様 |
| 名取市 | 相原正春様 | 大崎市 | 永塚正子様 | 栗原市 | 三浦徳義様 |
| 亘理町 | 菅生智秀様 | 登米市 | 佐々木順様 | 栗原市 | 高橋孝夫様 |
| 松島町 | 高橋仁美様 | 登米市 | 海野達兄様 | 栗原市 | 高橋康彦様 |

●青少年健全育成功労者(団体)

登米市 ビッグフォーセーフティパトロール隊様

- 設立/平成21年 ■代表者名/高橋弘子
- 設立当初から現在まで、石越町内の小・中学生の登校時の見守り活動を行っています。
- 平成23年からは、学校・地域登録ボランティアとして、地域住民同士の絆を深め、地域ぐるみ子どもたちの健全育成活動に取り組んでいます。



石巻市 河南地区青少年健全育成市民会議様

- 設立/平成15年 ■代表者名/佐藤政治
- 地区の青少年の健やかな心身を育むことを目指し、地域と連携しながら以下の活動を主に、多彩な活動을意欲的に行っています。
- かなん少年の主張大会(小学校代表児童の意見発表等)
- 青少年健全育成標語の募集(各小学校4年生を対象)
- 小学校区防犯パトロール(10~3月に月2回通学路)



●在学青少年社会参加活動善行者(団体)

大崎市 大崎市立鳴子中学校様

- 設立/平成18年 ■代表者名/築田智志(校長)
- 大崎市社会福祉協議会鳴子支所と連携し、鳴子峡で「赤い羽根共同募金」街頭募金活動や、平成28年から鳴子温泉地域のひとり暮らし高齢者宅へ年賀状を送る活動を行っています。また、生徒が自主的に「パキスタン洪水被害」、「能登半島地震」への募金活動を行い、生徒の意志を尊重したボランティア活動に意欲的に取り組んでいます。



登米市 南方町ボランティアサークル「天の川」様

- 設立/昭和63年 ■代表者名/高橋 尊
- 地区コミュニティ、公民館等の各行事に積極的に参加し、子どもたちの健全育成や地域の活性化に努めています。
- 定例会で会員同士の意見交換を行い、ジュニアリーダーとしての技術や、資質向上を目的とした研修を、自主的に計画し活動しています。



基調講演

演題：「社会総がかりの青少年健全育成を目指して」

講師：利府町文化交流センター「リフノス」センター長

文部科学省総合教育局コミュニティ・スクール推進員（CSマイスター）

国立大学法人宮城教育大学 元学長特別補佐（特任教授）

野澤 令照 氏

〈プロフィール〉

栃木県生まれ 宮城県仙台市在住 宮城教育大学卒業 放送大学大学院修了
学校教育と社会教育での現場経験を生かし、学校・家庭・地域が協働で取り組む教育を推進してこられた。三者がパートナーとして、それぞれの責任を果たしながら、共に子どもを育むコミュニティづくりを目指している。

現在の取組…情熱あふれる教師の育成、地域活動のリーダー育成、未来を拓く教育の創造に挑戦。

著 書／「子どもたちの未来を拓く『探究の対話（p4c）』」東京書籍、「キャリア教育の底力 - 寺岡小学校編 - 」公文書院 等
役 職／宮城県社会教育委員の会議議長、宮城県生涯学習審議会会長 他



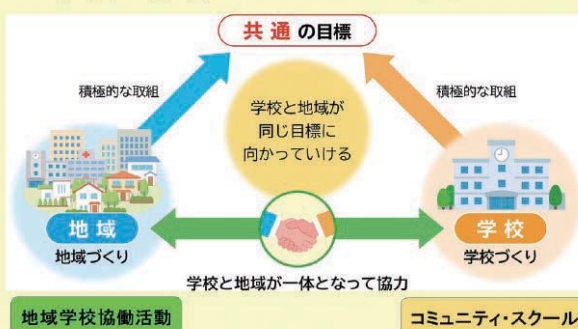
今回の講演では、野澤先生の長年にわたる教育現場での経験や、文部科学省コミュニティ・スクール推進員（CSマイスター）の経験を基に、

- ① 青少年が生きていく時代は「どんな世の中」か
- ② 社会の変貌から未来の子供たちの仕事が大きく変わる
AI・スマホ社会、極端な少子・高齢化社会
- ③ SDGsとウェルビーイングについて
（一人一人の多様な幸せと社会全体の幸せ）
（社会的課題の解決する、快適な暮らし）
- ④ 地域の力が学校を変える（地域学校協働活動）
- ⑤ 学校が変われば地域が変わる（コミュニティ・スクール）
- ⑥ 社会総がかりの教育はなぜ必要か（事例紹介）

といった青少年健全育成の課題や社会総がかりの具体的な姿について、地域住民や保護者の立場からどうあるべきか、ご教授いただきました。地域や保護者の方々による進め方などについて質問に答えながら興味の尽きない講演になりました。



学校と地域がパートナーとなることで



地域学校協働活動

地域住民と児童生徒が共に地域の課題に向き合い、課題解決に向けて協働する活動を推進し、地域を担う人材を育成する。

キーワード

子ども＋地域住民＋地域づくり
＋課題解決＋地域理解＋愛着

大切なのは、大人のつながりづくり

一般社団法人とちぎ市民協働研究会 代表理事 廣瀬隆人先生 提供

事例 仙台市立寺岡小学校

I ひまわりプロジェクト 地域の方と苗植え



5年生は地域の方に植える間隔や深さなど教わりました。



地域の方と街の落葉はき



話を聞く、だけでなく、素朴な疑問を質問したり、実際に体験したりすることで学びを深めました



地域の方と職業体験学習

コミュニティ・スクール

大切なのは・・・

地域住民が自分たちで地域づくりをすること

学校に集まって、地域の未来を話し合い、どんな子どもに育てて欲しいのかを地域の皆さんと先生方が一緒に考える習慣をつける。 ⇐ **学校運営協議会**

目指すのは・・・地域とともにある学校

一般社団法人とちぎ市民協働研究会 代表理事 廣瀬隆人先生 提供

青少年育成推進指導員委嘱状交付式・地域研修会を開催

令和5・6年度の青少年育成推進指導員を委嘱する「委嘱状交付式」を県内5地区で開催しました。委嘱期間は令和5年6月1日から令和7年5月31日までで、新任35名を含む181名（交付式時点）の方を委嘱しました。同時に開催した「地域研修会」では、今後の活動に役立てていただくために2つの講話と、青少年育成推進指導員活動の報告や情報交換などを行いました。



- ◆会場◆
 〈参加者数〉 仙南・仙台南地区 – 6月13日（火）大河原合同庁舎 〈43名〉
 石巻地区 – 6月16日（金）石巻合同庁舎 〈23名〉
 登米・気仙沼地区 – 6月20日（火）登米合同庁舎 〈24名〉
 仙台市・仙台北地区 – 6月22日（水）仙台合同庁舎 〈40名〉
 北部地区 – 6月27日（火）大崎合同庁舎 〈41名〉

講話Ⅰ 「青少年育成推進指導員の役割」

講師：宮城県共同参画社会推進課 青少年専門員

「青少年育成推進指導員とは」「お願いしたい活動とは」「青少年を取り巻く環境・現状は」といった内容で、青少年育成推進指導員の役割や活動について説明しました。新任の方には、青少年育成推進指導員の活動を知ってもらい、継続の方にも、これまでの活動を見直す機会にしてもらいました。

（参加者から）

- 活動を活発化させ、組織を強いものに築いていく道筋に

悩んでいました。肩の力を抜いてよいのかなと思えるお話でした。

- 見守られる側の生徒の感想や感謝の言葉を紹介してもらい、参考になりました。また、親子のコミュニケーションが子どもの成長に大きく影響することも再認識できました。
- 地域に住む子どもたちのためにいろいろな組織がある中で、私たちの知らないことでの推進指導員のみなさんの活動がよくわかりました。

講話Ⅱ 「青少年のインターネット安全利用について」

講師：宮城県共同参画社会推進課 青少年育成班 佐藤 賢治

青少年が巻き込まれやすいインターネットトラブルについて、「闇バイト」や「不適切な投稿」等の事例を紹介し、トラブルに巻き込まれないための家庭でのルールづくりやフィルタリングの必要性などについて話がありました。

（参加者から）

- 市民会議等の研修会等で会員への周知を図りたいと思いました。そのほかに、私たちができることのヒントもほしかった。

- インターネットにかかわる青少年の犯罪が多くなり心配しているところです。子どもたちが安易な形で、詐欺、窃盗に加わり大きな問題になっています。親も家庭内で簡単に誘いに乗らない工夫を考えていく必要を感じました。
- 配布された資料は、初期段階から分かりやすく説明されており、大変理解しやすかった。特にインターネットトラブル事例が参考になりました。

講話Ⅲ 「活動報告」

講師：【仙南・仙台南地区】野角裕美子氏（名取市）【北部地区】高橋 和子氏（大崎市鳴子町）
 【石巻地区】【仙台市・仙台北地区】藤澤 美子氏（松島町）

令和4年度の「活動報告」をもとに、3名の青少年育成推進指導員に具体的な活動内容について、発表してもらいました。地域の実情・課題等をふまえ、コロナ禍だからこそその思いで地域の青少年に寄り添った活動内容は、参加者の志気を高めるものとなりました。また、登米・気仙沼地区では地域での活動内容等についての情報交換を行いました。

（参加者から）

- 学校運営協議会の委員として学校にも関わる中で、子どもたちの為に「何かしたい」ということで、子供会育成

会の会長さんや地域とも連携し、協同して実施されたことに勇気をいただきました。活動内容も大変参考になりました。動く大人の熱量を感じました。

- 地域を巻き込んだお手本の活動報告でした。中学校、社協、民生委員等とのボランティア活動、見守り訪問活動、一人ぐらし世帯への事業展開など、地域課題に対する連携による取り組みに感心いたしました。
- 楽しそうな活動で、コロナが収まってきたので、各地区で活動が再開できるとよいと思いました。

アンケートより

－回答者数92／青少年育成推進指導員出席者数109－



| | 大変参考になった | まあまあ参考になった | あまり参考にならなかった | まったく参考にならない |
|-----|----------|------------|--------------|-------------|
| 講話Ⅰ | 46 | 44 | 2 | 0 |
| 講話Ⅱ | 48 | 40 | 3 | 0 |
| 講話Ⅲ | 40 | 30 | 4 | 0 |

研 修 大 会

大会テーマ：『地域が青少年の居場所となるために』

期日：令和6年2月9日 場所：東北自治総合研修センター

令和5年度の研修大会を、富谷市にある東北自治総合研修センターで開催しました。

先だって行われた研修委員会では、前回アンケートの結果をもとに、講演と参加者同士が情報交換をし合う分科会の形式で行うこととし、講演内容は、現在の青少年の大きな問題となっている「不登校」について、地域の課題として考える機会にすることで決定しました。



講演 「不登校児童生徒の支援の在り方について～不登校特例校の取り組み～」

発表者：富谷市教育委員会 教育次長 鹿野田忠之 氏
富谷市立富谷中学校 校長 佐藤 広昭 氏

（参加者から）

●富谷市の不登校児童に関する取り組みについて講演をいただき、不登校になる原因はそれぞれなのだと感じました。本町でも今後の講演等で不登校のことを行いたいと思いました。



●昭和の人間だからでしょうか。不登校の子どもにすこし厳しい認識をもっていました。今日の講演で、10人一人違う10色であることを理解し、受け入れ支援していくことも必要なんだと思いました。大人になるまでの道りも歩き方も各々違うんですね。

●不登校児童の状況はさまざま、受け入れ場所をつくることも簡単ではないし、できるだけ学校に通えるようにケアをすることは最も大切なことだと改めて感じました。不登校児童に寄り添った環境を学校や地域でも協力して築いていきたいなと思います。

●不登校児一人一人の状況に合わせて、あらゆる方法で対策していることに感激しました。子ども達にとって居場所があることは、とても良いことですね。これからも子ども達の居場所作りの手助けになれるような活動ができるように頑張れる勇気をいただいた講演会でした。



（分科会での発言）

●分科会で様々な市町村の方々の意見が聴けて参考になった。「地域が青少年の居場所になるために」というテーマだったが、地域の様々な状況の若者を否定せず、受け止められる地域作りをしていく必要がある。

●初めて参加したが、様々な情報を得られてよかった。結論を出さない情報交換というのが良かった。

●不登校への捉え方が世代間でギャップがまだまだあると感じました。自分は20代ですが、上の世代の教育の結果が現在の子ども達の現状なのに……。ここまで理解しがたいものか……。と思う節もありました。まずは理解に向けた行動（今回の講演も）が大事だと感じました。

●少人数での意見交換会でしたので、一人一人の話をじっくり聞けましたし、勉強になりました。地域力は、どの場所でも必要になっているんですね！

●各地域で同じ状況⇒不登校の増加。地域では常にあなたの事を見守っているという事を伝える必要がある。

●不登校になるきっかけは様々ですが、人と人、生身の付

き合いが成長するのに不可欠ではないかと感じます。地域の力を活用しながら、健全な子ども達の成長を見守っていかねばいけません。まず、しっかり「あいさつ」しあえるように！！

●それぞれの立場や経験をもとに考えを交流することで多様な視点や課題を見つけることができました。



【令和5年度研修委員】〈研修委員長〉森本 照雄（仙台地区）

〈研修委員〉村上 新一（仙南地区） 貝山 昭子（仙台地区） 岩淵 竜也（大崎地区）

佐藤 文則（登米地区） 阿部ひろみ（石巻地区） 遠藤 利文（石巻地区）

小山 憲一（気仙沼本吉地区）

毎月第3日曜日は

「家庭の日」



青少年の健全育成及び非行防止のためには、健全な家庭づくりが必要です。青少年のための宮城県民会議では、毎月第3日曜日を「家庭の日」と定め、家族で過ごす大切な時間を持つことを推進しています。

「家庭の日」PR活動

県内5公所で開催されたイベントに参加した家族に、オリジナルデザインのカラフルな手袋等のグッズをお渡しし、「第3日曜日は家族みんなですごしましょう」と「家庭の日」を呼びかけました。

それぞれの施設の特色を活かした体験をとおして、普段とは一味違う親子の笑顔が溢れていました。皆さんも自然の家を活用してみませんか。



オーエンス泉岳自然ふれあい館



志津川自然の家

7月17日／志津川自然の家

9月10日／松島自然の家

10月 1日／オーエンス泉岳

自然ふれあい館

10月15日／蔵王自然の家

10月22日／国立花山青少年自然の家

宮城県ネクストリーダー養成塾

宮城県の次代を担うリーダーを育成することを目的として、県内の中学生を対象に「宮城県ネクストリーダー養成塾」を開催しています。研修では知事や様々な分野で活躍されている方々からの講話や同世代の仲間たちとのワークショップ、意見発表を通して、考える力やリーダーシップについて学んでいます。



ネクストリーダー養成塾



普段出会う機会が少ない他校の生徒と一緒に成長するチャンスです。

仲間と一緒に夏の思い出をつくりましょう！

令和6年度も開催します！ みなさんでぜひご参加ください！

みやぎの青少年意見募集事業

こども・若者から県の政策課題などへの意見をもらう「みやぎの青少年意見募集事業」を実施しています。こども・若者から提出された意見の中から、若い世代の視点を取り込み、政策の改善を目指します。

また、若い世代同士で意見交換を行う「青少年意見交換会」も開催します。ぜひ、若い世代の皆さんからの新しい意見をお寄せください。



インターネット安全安心利用の動画を作りました

青少年が、インターネットのトラブルに巻き込まれないために、知ってほしいポイントをまとめた動画 (YouTube) を作成しました。

お気軽に様々な機会でご覧ください。また、学校の授業や保護者の方の勉強会などで御活用ください。

動画はコチラから

【青少年のみなさまへ】
(4分)

【保護者のみなさまへ】
(5分)

